

中東北の拠点都市一関の
元気を発信するマガジン

川崎版
July.2015 No.236
7.15

I-Style

Ichinoseki City Public Relations Magazine
7 July 2015



重厚なハーモニーを響かせる

COVER★男性オペラユニット「LEGEND(レジェンド)」ミニコンサート
撮影日 6月22日 / 場所 川崎小学校

写真 ①美しいハーモニーを響かせる/②児童と一緒に熱唱/③2年生児童と一緒にヒマワリの種を植える

6月22日、川崎町薄衣出身のオペラ歌手菅原浩史さんが所属する「LEGEND(レジェンド)」のミニコンサートが開かれました。

このコンサートは、6月20日に遠野市で開かれたコンサートに合わせ、菅原さんの母校である川崎小学校(旧薄衣小学校)での開催が実現。「あすという日」などを披露し、男声の重厚なハーモニーを響かせました。

レジェンドは、国立音楽大学出身の男性オペラ歌手5人で2006年に結成。全国に希望の花を咲かせたいという願いのもと、ヒマワリの種を届け、全国各地でコンサートを展開しています。

コンサートの最後には、菅原さんから「いろいろなことにチャレンジし、得意なことを見つけて、小学校生活を楽しんでほしい」と後輩へエールが送られました。



川崎地域お役立ちカレンダー

Ichinoseki Monthly Useful Calendar

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
7 July						
19	20	21★	22	23	24	25
26	27★	28	29	30	31	
8 August						
2	3★	4	5	6	7	8
9	10★	11	12	13	14	

★印は窓口延長の日。午前8時30分～午後7時まで、戸籍の届出や住民票などの交付、市税の窓口納付、児童手当申請などの業務を延長して行います。詳細は、支所市民課☎2113または保健福祉課☎2115までお問い合わせください。

地域の元気なサークル紹介

四季組(代表:金野ます子 会員:10人)



活動日時: 毎週第2・4金曜日
13:30~15:00
活動場所: 川崎市民センター

結婚式で踊りを披露したのを契機に、踊りの楽しさに魅了され、平成16年にサークルを結成しました。四季組の名前は、「劇団四季」からひらめいて命名。元気で笑顔のあふれる女性たちが、「劇団四季」に負けないくらいのパワー全開で、楽しみながら練習に取り組んでいます。また、かわさき芸能発表大会での発表や施設への慰問等の活動も積極的に行っています。一緒に活動してくれる仲間を募集中です。一度遊びに来てみてください。

編集後記

川崎小学校でのLEGENDミニコンサート。とても感動的でした。小学生の頃に抱いた夢を追い、夢を実現し、母校を訪れる。私自身も日々チャレンジすることを忘れず、過ごしたいと思えます。☺

地域のお知らせ

催し 川崎図書館 こわいおはなし会
川崎図書館 ☎ 4123

毎年大好評のこわいおはなし会。今年も怖さのレベルを2段階に分けて行います。両方聞いてもOK! みんなでこわい話を聞いて涼しくなりましょう。

◇日時…8月1日㊤

①ちょっとこわい(未就学児向け) …11:00~11:45 / ②ほんとにこわい(小学生以上) …14:00~14:45

◇場所…川崎市民センター 音楽研修室

◇参加費…無料

◇その他…事前申し込みは不要です。

市全体のお知らせ

お知らせ いちのせきイベントサポーター制度がスタート

本庁まちづくり推進課 ☎ 8671
川崎支所地域振興課 ☎ 4121

あらかじめサポーターとして登録をいただいた方に、市などが行うイベントスタッフとしてイベントの運営を応援していただく制度です。

◇手続き…①サポーター登録をする→

②市からイベントの案内が届く→③参加したいイベントを選び参加申込する→④スタッフとしてイベントに参加する

◇対象…中学生以上

募集 1日一関高生になるう!
岩手県立一関高等看護学院 ☎ 5116

どなたでもお気軽にご参加ください。

◇日時…7月25日㊤ 10:00~13:00

◇場所…岩手県立一関高等看護学院

◇費用…無料

◇その他…①上履きをご持参ください。

②駐車場に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

◇申込み…上記まで申し込みください。

お知らせ 7月は「社会を明るくする運動」強化月間です

長寿社会課福祉企画係 ☎ 2111(内線8357)

犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

「出所者等の事情を理解した上で雇用する企業を増やすこと」と、「帰るべき場所がないまま、刑務所から社会に戻る人の数を減らすこと」を15年度の重点項目とし、各種行事、街頭啓発活動を各地域で実施します。

犯罪や非行のない明るい地域づくりにご理解とご協力をお願いいたします。

教室 夏休み小学生囲碁教室

山日市民センター ☎ 2104

◇日時…7月27日㊤、28日㊤、29日㊤、30日㊤、31日㊤
10:00~12:00

◇場所…山日市民センター

◇内容…囲碁の基本ルールから楽しく教えてくれます

◇対象…小学生

◇定員…20名

◇参加費…無料

◇講師…山日市民センター囲碁同好会

◇申込み…7月13日㊤9時から電話で受け付けます。

川崎あじさい公園情報



昨年、地域のみなさんと植栽したあじさいも咲き始めました。まだまだ小さなあじさいですが、地域の皆さんに見守られながら、元気に育っています。

川崎あじさい公園が、川崎地域の活性化に継がれることを期待しています。

また、6月5日には、川崎岩手ライオンズクラブと交流のある川崎市の川崎稲田ライオンズクラブから、あじさい公園の造園記念として、「クレナイ」という品種のあじさいを植栽してもらいました。赤い花を咲かせており、きれいです。

みなさんもぜひ見に足を運んでみてください。

川崎地域の空間放射線測定結果

単位：マイクロシーベルト/時

測定場所	測定日	測定値(地上1m)
川崎市民センター進入路	6月16日	0.09
川崎運動広場多目的グラウンド	6月16日	0.06
川崎保育園 園庭	6月16日	0.16

※国が示す除染の要件は、地表から1mの高さの空間放射線量が、毎時0.23マイクロシーベルト以上(年間1ミリシーベルト以上)です。

☎放射線対策室 ☎ 8331

CITY TOPICS まちのトピックス

地域を元気にする秘訣
—「川の大楽校」いきいきシニアライフコース開講式—



5月28日、「川の大楽校」いきいきシニアライフコースが開講し、地域を元気にする秘訣について、皆川洋一氏(藤沢町黄海)が講演を行いました。

講演では、藤沢地域を盛り上げるためのイベント企画や地元食材を使った料理の提供などの取り組みについて紹介。

「藤沢に人が集まり始めたことで住民が自信を持ち、地域全体が元気になった」と、方言を交えながらユーモアたっぷりに語り、会場は、終始笑いの渦に包まれました。

心地よい汗を流す
—花いっぱい運動「花壇への植栽作業」—

川崎地域の各自治会等では、花いっぱい運動への取り組みの一環として、自治会花壇等へ花の植栽を行いました。

この事業は、一関市民憲章推進協議会予算を活用し、毎年この時期に実施されています。今年度は、サルビアやマリーゴールド、ペチュニアなど6種類、総本数4,160本を各自治会や小中学校へ配布しました。各自治会等では、老人クラブ等が中心となり、花の配置などを考えながら植栽作業に心地よい汗を流しました。



大きなエールが送られる
—川崎中学校 一関地方中学校総合体育大会壮行式—



6月18日、川崎中学校で、一関地方中学校総合体育大会へ向けた壮行式が行われ、出場する野球、ソフトテニス、バドミントン、卓球、ソフトボール部へ大きなエールが送られました。

各部からは、「悔いのないよう全力でプレーする」「最後まであきらめずに頑張る」などの決意表明がありました。

団体戦の大会結果は、ソフトテニス第3位、男子バドミントン第3位、ソフトボール第3位でした。

真っ赤に熟したさくらんぼを堪能
—川崎観光さくらんぼ園プレオープン—

6月13日、さくらんぼ園がプレオープンしました。このさくらんぼ園は、川崎さくらんぼ作り隊(千葉琢也 隊長)がいちのせき地域おこし事業を活用し、川崎地域の新たな観光拠点づくりを目指し、5年前から整備を行ってきたもの。3棟のハウスには、佐藤錦、紅秀峰など5品種のさくらんぼが植えられ、甘さや酸味などのちがう味を楽しむことができます。

参加者は、真っ赤に熟したさくらんぼを堪能しました。



かわさき川柳同好会(六月作品) 内田正好選

咲く季節見たいばかりに花手入れ
長寿より年金ペールはぎ取られ
趣味重ね高齡の今楽しめる
指揮者なし野鳥の合唱砂鉄橋
孫帰郷回転寿しで十枚目
甘えてた孫娘も社会で辛さ知る
出る腹にしほむ筋肉ダイエツト
老いの道仕事の後の疲労感
若者はスマホ・彼女に熱中症
四十雀小首かしげる休耕田
人生の集大成は皮下脂肪

佳作
跳ね返す気力温存わが命
タンズ開け昭和の匂い魅力
アンテナを迷わず老いの遠い耳
秀逸
集自権任務リスクも迷彩化

【選評】
海外で戦争に巻き込まれたら、自衛隊員やこの日本はどうなるだろう。曖昧さと強い懸念を、制服の迷彩色で巧みに表現しましたね。
選者吟
いやドローンに乗ってドロンする

伊藤孝雄
伊藤サツキ
いとう滋
小山博子
三浦富月
菅原孝
高橋康魚
小野寺キヨ
小野寺七郎
鈴木禎子
和田耕一
小野ハルコ

Books Review

7月の本

川崎図書館 ☎ 43-4123

『ご飯が食べられなくなったらどうしますか?』
花戸貴司 文 國森康弘 写真
自分らしく死ぬためにどのような医療を選ぶか。医師である著者はその選択をタイトルのように問いかけてます。人生の最終章の決断を見守る地域と、それを支える医師の奮闘を描いた一冊。

『渋谷ギャル店員 ひどりはじめたアフリカボランティア』
栗山さやか 著
親友の死と一冊の本をきっかけに、生きている意味を考えた著者。ギャル店員を辞め、バックパッカーとして世界を回って辿り着いたアフリカで、女性を支援する活動を始めるまでの自伝。

『かき氷 天然氷をつくる』
細島雅代 写真 伊地知英信 文
昔の冷蔵庫は電気を使わず、中に氷を入れてものを冷やしていました。ではその氷はどのようにして作られるのでしょうか?今は全国で数軒のみという氷屋さんの仕事を紹介した科学絵本。